

マイクロプラスチックって？

NBS119

私達の身の周りには プラスチック製品は溢れています。そのほとんどは 捨てられます。このうち 海に投棄される量は 年間**1,300万トン** とも言われています。

海に廃棄されたプラスチックは 太陽光や紫外線で劣化し、波や風で細かく、細かく砕かれてゆきます。

この中で大きさが5ミリ以下のものを **マイクロプラスチック** と呼んでいます。

推定で 現在 5000000000000個 (認識し易いように数字にしました。) **5兆個**です！

環境省が昨年行った調査では、東京湾で 世界平均の60倍 日本海では30倍 という

結果が出たようです。

日本の研究で、海鳥などを解剖したところ、肝臓や脂肪から有害物質のPCBを検出したそうです。

さらに東京湾のイワシ64匹のうち49匹から平均3個のマイクロプラスチックが見つかったそうです。これは 次のような流れが想定できるようです。

海中に浮遊するマイクロプラスチックが有害な化学物質を引き寄せ、マイクロプラスチックを食べた小魚を大きな魚が食べる食の連鎖が進んでゆく中でどんどん濃縮されていくようです。最大100万倍という数字は驚きです。私たちがこのような魚を食べてもプラスチックは排泄されますが、有害化学物質は体内に残ってしまうようです。

どうやら 問題は **マイクロプラスチック** だけではないようですね！



このマイクロプラスチックが海洋に拡散されていることが分かり、次のような問題点が提起されています。

生態系に及ぼす影響

マイクロプラスチックはプランクトンが食べ、そのプランクトンを食べる魚や貝、ゴカイ等へ影響を及ぼします。前述のようにマイクロプラスチック自身に有害物質が含まれて

いるだけではなく、マイクロプラスチックが発がん性のあるPCBやD D T（殺虫剤成分）

などを吸着しやすい性質を持っています。

マイクロプラスチックを食べたプランクトンがやがて食の連鎖で魚へと導かれ、ご家庭の

食卓にある可能性は充分にあります。

そう考えますと 恐ろしいです



こんな悲しい風景になっていきます



私達はどうする？

かつての美しい海を取り戻せるのでしょうか？

現在拡散されてしまったマイクロプラスチックを、全て回収することはどうやら

不可能のようです！！ ええ??

取り返しのつかない とんでもない事を私達は、しでかしてしまったようです

もう一度基本に戻って

- ゴミの分別処理を徹底的に行う
- 川や海にゴミを絶対に捨てない
- 自分のゴミはどこにいても 必ず持ち帰り処分する。

等の**常識中の常識**を 再確認して行動に移す必要があります。

プラスチックを使用する様々なメーカーでは、プラスチック微粒子の使用を禁止する

方針を打ち出したところも多数あります。

まず 知ろう！

今私達の周りの海がこんなに汚れて大変な危機にさらされていることを認識しましょう！

知って、その危機を理解して、そして 始めましょう！

今ある **マイクロプラスチック** が 回収不能であるならば 今から1個でも増えないように

私達が、あなたが、出来る小さなことを 少しずつ 確実に！



● 参考

ヨーロッパでのゴミに対する 4原則 4R

REFUSE 断固 作らない

ゴミは企業責任であり、製造者の責任

そのためゴミが発生しない販売方法（計り売り、ばら売り）など

当然エコバッグで、ゴミになるものは買わない、持って帰らない

REDUCE 減量する

REUSE 再使用

同じものをもう一度使う 再使用を！

たとえば容器を店が回収して、メーカーに戻し、洗浄後再度商品を詰めて販売という流れ

RECYCLE 上記3Rを順次実行し、ごみ量が減少した後に リサイクル！

日本では、リサイクルはかなり進んでいると言われますが・・・

大量に生産し、大量に消費し、大量に廃棄したまま リサイクル??

これでは 結局 ゴミの量は減らないどころか倍増!!!

ゴミの出ない買い方

ゴミの出ない使い方

を71億人とも言われる私達全員が心がける必要があります！

